

令和4年度 総合政策部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
総合政策部長 岡崎 清吾 	<p>●使命 総合政策部は、企画・政策を総合調整する部として、市民の幸福度を高めるため、高度化・多様化する行政ニーズを集約し、共有しながら、課題を市政に反映します。 また、持続可能な地域づくりに向けて、市民と行政との双方向による情報と意識の共有化を進め、市民満足度の向上に努めます。</p> <p>●基本方針 ①第3次瀬戸内市総合計画、太陽のまち創生総合戦略、SDGsの一体的な推進に取り組みます。 ②透明で開かれた市役所を目指して、市民目線での市政情報の広報に取り組みます。 ③定住促進策など「地方創生」関連施策を推進します。 ④市民活動のための支援策を調査研究し、協働のまちづくりを推進します。 ⑤豊かな自然や歴史・文化と共生した魅力あるまちなみの維持に努めます。</p>	所管課 秘書広報課、企画振興課			
		人 員	正職員 14人	会計年度任用職員 8人	合計 22人
		一般会計	1,502,059 千円		
		特別会計	16,316 千円		
		計	1,518,375 千円		
		(うち人件費)	(107,900 千円)		

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	ふるさと納税（応援寄附金）制度の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな返礼品の開発や品目の拡充により、ふるさと納税による税外収入の確保を推進します。 ・歳入確保と市のイメージアップのため、寄附者との関係維持やお礼の品の開発・拡充に取り組みます。 目標：予算額の7億円以上（特設サイト分含む） 新規返礼品：100品以上 ・効果的な返礼品のプロモーションに取り組みます。 ・経費率を下げるための施策を検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・9月末現在寄附金総額（未確定数値）は285,462,500円でした。新規お礼の品は150品開発し、拡充に取り組んでいます。 ・9月に契約し、SNS、特設サイト改修等準備しています。 ・業務詳細を確認、検討しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1月末現在寄附金総額（未確定数値）は843,526,643円でした。新規お礼の品は492品開発し、拡充に取り組んでいます。 ・返礼品デザイン変更、事業者取材、とれたて便等実施しています。 ・業務体制について、検討しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3月末現在寄附金総額（未確定数値）は918,301,021円でした。新規お礼の品は554品開発し、拡充に取り組んでいます。 ・SNSでふるさと納税に関する情報や市の魅力について発信しています。 ・同左

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況	
	<ul style="list-style-type: none"> 市のさまざまなプロジェクトを紹介し、特設サイトからのふるさと納税を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> 寄附しやすい特設サイトに改修します。 	<ul style="list-style-type: none"> 11月のサイト改修に向け、作業しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 2つのプロジェクトを追加しました。サイト改修は3月に完了する見込みです。 	<ul style="list-style-type: none"> ポイントから寄附するだけでなく、返礼品から直接寄附できるよう修正を行いました。 	
2	広報等による市内外への情報発信とシティプロモーションの推進	<ul style="list-style-type: none"> 市外に向けて市の魅力や取組等を広く発信します。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報誌を年4回発行することにより市のファンを獲得し、関係を継続します。 ファンクラブ会員目標数： 2,500人	<ul style="list-style-type: none"> 情報誌は9月に発行し、11月、12月、2月に発行を計画しています。 ファンクラブ会員 9月末 1,950名	<ul style="list-style-type: none"> 情報誌は12月に紙媒体で発行し、2月、3月にWeb版を発行する予定です。 ファンクラブ会員 1月末 2,098名	<ul style="list-style-type: none"> 情報誌は、2月冬号、3月春号を発行しました。 ファンクラブ会員 3月末 2,172名
	<ul style="list-style-type: none"> 「広報せとうち」特集ページで重点施策を分かりやすく伝え、市政への関心を高めるよう努めます。また、今後の方針と戦略をまとめた市勢要覧を作成します。 	<ul style="list-style-type: none"> 8月号、11月号、2月号で重点施策の特集を掲載します。 11月末までに統合報告書の内容を盛り込んだ市勢要覧を作成し、市のプロモーションに活用します。 	<ul style="list-style-type: none"> 8月号に重点施策を掲載しました。 統合報告書の作成を12月末までに変更し、統合思考について学びながら進めています。 	<ul style="list-style-type: none"> 11月号に重点施策を掲載しました。 統合報告書の作成を3月上旬までに変更し、作業を進めています。 	<ul style="list-style-type: none"> 2月号へは紙面の関係上重点施策を掲載できませんでした。 3月末に統合報告書を完成させました。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 効果的かつタイムリーな広聴・広報により市内外への正確で迅速な市政情報の提供に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> Twitter、LINEやYoutube等のSNSを活用し、市の情報を発信します。 発信回数：10本以上(月間) 友達登録：10,000人以上 投稿動画数：20本以上(年間)	<ul style="list-style-type: none"> Twitterは、月10本以上発信しています。 LINE友達登録：8,300人強です。 Youtube配信は方針等検討しています。 	<ul style="list-style-type: none"> Twitterは、月10本以上発信しています。 LINE友達登録：8,300人弱です。 Youtube配信検討は次年度に変更します。 	<ul style="list-style-type: none"> Twitterは、月10本以上発信しています。 LINE友達登録：8,300人弱です。 	
3	国内・国際交流事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流員の配置による国際交流と国際理解と国際貢献の推進に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国人への情報発信やコミュニケーションの円滑化を図るため職員向けに「やさしい日本語」講座を実施し、多文化共生を推進します。 講座回数：年2回 研修参加者数：15人	<ul style="list-style-type: none"> 「やさしい日本語」講座と「語り合いの行事」を9月に実施しました。参加者数を増やせるようにPRしていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民向けの「やさしい日本語」講座の開催準備をしていますが、学校・企業にも参加を働きかけています。 	<ul style="list-style-type: none"> 予定応募者数に達しなかったため講座は開催しませんが、別途要望があり、職員向けに「やさしい日本語」講座を開催しました。

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
		<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に必要な情報をまとめた外国人向けパンフレット等の多言語化(英語・フランス語)を年度内に完了します。 ウクライナからの避難民支援として、市としてできる難民受入体制を整備するとともに、ホームページ掲載や難民問題を伝えるイベント等で周知を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国人向けパンフレット等の多言語化に取り組んでいます。 受入体制についての要綱、ホームページを整備中です。12月に難民問題を伝えるイベント開催の準備をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ゴミ分別マニュアルの多言語化に取り組みました。次年度の動画作成に向け、現在、準備を進めています。 UNHCRとの連携についてホームページを整備しました。12月に表彰イベントを開催し、163名の参加がありました。 	<ul style="list-style-type: none"> 次年度の動画作成に向け、現在、準備を進めています。 UNHCRとの連携について、SNSで情報発信を継続しています。
4	<p>地方創生の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 地方創生による地域活性化を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> 移住交流促進協議会と連携し、移住者の増加やリモートワークを推進する企業等の誘致を図ります。 相談会からの移住件数: 5組 企業等からの相談件数: 40件 会員制度登録事業者数: 15件 離島振興法の改正に伴い、前島の特性や資源を活かし、活性化を目指すための離島振興計画を年度内に策定します。 	<ul style="list-style-type: none"> リモートワーク会員制度のPRや移住相談会7回(大阪2回、ナイター5回)への出展で、24件の相談に対応し、22件の現地案内を実施しました。移住者の受入は7組14人、会員制度登録事業者は3件となっています。 国の離島振興法改正の動向について情報収集を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 移住相談会12回(大阪3回、東京2回、ナイター7回)への出展で、84件の相談に対応し、31件の現地案内を実施しました。移住者の受入は9組19人、会員制度登録事業者は7件となっています。 前島住民への意見聴取を行い、前島振興計画案を作成し、岡山県に提出しました。今後、岡山県離島振興計画としてパブリックコメントが実施される予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> リモートワーク会員制度のPRや移住相談会15回(大阪4回、東京3回、ナイター8回)への出展を通して企業や移住希望者等から160件の相談に対応し、36件の現地案内を実施しました。 移住者の受入は11組25人、会員登録事業者は12件となっています。 岡山県で岡山県離島振興計画としてパブリックコメントを実施中です。(～4/17)

重点項目		内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
5	市民協働の推進	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動団体を支援することにより、協働のまちづくりを推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税制度を活用した市民活動団体支援制度の規定を整備します。 	<ul style="list-style-type: none"> 先進地の制度設計に携わった公益財団法人に制度内容の聞き取りを行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 先進自治体に支援制度内容の聞き取りを行い、制度設計を検討しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動支援について包括連携協定を締結している団体に具体的な制度案を作成してもらうように依頼しました。
6	持続可能な地域コミュニティづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 新しい自治組織づくりに取り組む地域を支援します。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい自治組織づくりに取り組む地域に対し、地域の要望に応じた支援を行います。 支援団体数：3団体 	<ul style="list-style-type: none"> 邑久地区、本庄地区、磯上地区において既存組織の組織力強化につながる取組を支援しています。邑久地区では行政委員を対象とした交流会、本庄地区では行事参加者へのアンケートを実施しました。また、福岡地区において地域のつながりを広げることを目的に防災をテーマに取組を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 邑久地区は2回目の行政委員交流会、本庄地区はアンケート結果のコミュニティ便り掲載、磯上地区は空き家問題をテーマとした地域を考える会、福岡地区は防災をテーマとした講演会とそれぞれの取組を支援しました。また、美和地区で開催された協議会の今後の在り方を考える会に参加し、新しい自治組織制度について説明しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい地域自治組織を設立した場合に活用できる補助金を創設しました(4月1日施行)。美和地区で行われた新しい自治組織設立についての会議に参加しました。美和地区では4月に新組織設立の予定です。行幸地区の各種団体を集めた情報交換会の開催を支援しました。年間を通じて鹿忍地区の役員会等に参加し、適宜助言等を行いました。

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の活動拠点であるコミュニティセンターを適切に維持・管理します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的なコミュニティセンターの改修・修繕を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊原コミュニティセンター駐車場舗装工事では、4月に建設課に分任し、8月入札終了、12月初旬を目途に工事完了予定です。その他2施設の修繕を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊原コミュニティセンター駐車場舗装工事は1月初旬に工事が完了し、実地検査を終了しました。その他3施設(4箇所)の修繕を行いました。今後、年度末内に2施設(3箇所)の改修・修繕予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度内に5施設(7箇所)の修繕、4施設(5箇所、豊原コミュニティセンター駐車場舗装工事含む)の工事・改修を行いました。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通計画に基づき、新たな公共交通不便地域が生じないよう公共交通網の維持に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・9月末の路線廃止が決定している民間バス路線「牛窓(邑久駅・北回り)西大寺線」を市営バス路線として引き継ぎます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・9月末までに、牛窓中央線を市営バス路線として運行するために必要な手続きや関係機関との調整が完了し、10月から新たなバス路線として運行する準備が整いました。また、邑久駅以西の瀬戸内市内路線については、大富-邑久駅線(南)(北)を循環化し、カバーします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・10月から新たな市営バス路線として「牛窓中央線」の運行を開始し、月に3,000人以上が利用しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・牛窓中央線の利用者数は増加傾向にあり、3月は4,000人を超える利用がありました。特に、牛窓方面から高校への通学で利用する生徒が増加しています。

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
8 計画的かつ調和のとれた土地利用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・市民生活と産業活動が調和した良好な地域環境の形成と市の均衡ある発展を図るため、計画的かつ調和のとれた土地利用を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地利用に関する基本的かつ総合的な長期計画である「瀬戸内市国土利用計画」を市民参画により策定します。また策定を通して都市計画の導入の可否を検討し、その是非について方針を決定します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・7月末までに基礎調査、タウンミーティングなどの市民参画の取組が完了しました。4月から国土利用計画審議会を6回開催し、9月に審議会から都市計画導入が必要である旨の中間答申を受けました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・12月の審議会を経て1月初旬に素案を取りまとめ、岡山県へ意見調整を依頼しました。2月から1ヶ月間パブリックコメントを実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会の答申を受け、3月末に国土利用計画を策定しました。
	<ul style="list-style-type: none"> ・官民連携で、過疎地域のまちなかの再生・活性化（牛窓リノベーションプロジェクト）を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地方創生拠点施設「牛窓テレモーク」を起点に、民間事業者や金融機関とも連携しながら、牛窓エリアの賑わい創出を促進します。 ・エリア内での創業件数： 4件以上 ・官民で形成するエリアプラットフォームの構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年の供用開始以降の拠点施設への来館者は10万人程度で、7月から音楽スタジオの運営が本格的に始まりました。 ・来年1月にまちづくりファンドを活用して1事業者が創業予定です。 ・エリアプラットフォームの構築において採択を受けた国の補助金の申請を10月初旬に行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者は12万人程度となっています。1階に花屋がテナント入居する予定で、4月開業を目標に3月から改修工事が行われる予定です。 ・まちづくりファンドを活用した1事業者が2月から創業を開始します。 ・民間の担い手の活動調査を終了し、2月から担い手を対象にした交流会や自治会関係者等を加えた話し合いを実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者13万人程度となっています。テナントとして、3月末に花屋が入居しました。 ・まちづくりファンドを活用した1事業者が2月に創業を開始しました。また、3月に花屋が開業しました。 ・担い手や行政委員、関係機関の交流会などを開催し、話し合いを通して、3月末に将来ビジョン策定等の主体となる「牛窓まちなかエリアプラットフォーム」を構築しました。

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
9	SDGsの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な瀬戸内市の実現に向けたローカルSDGsを実現します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs 推進方針を策定するとともに、市民等への普及啓発を行います。 普及啓発イベント開催数：2回 	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山市が開催した「未来わくわくSDGsフェスタ」に岡山連携中枢都市圏として協力し、パネル展示を行いました。 また、職員向けSDGs研修を開催しました(参加人数25人)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員向けSDGs講演会「エネルギーと環境を考える」を開催しました(参加人数45人)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民向け普及啓発イベント「せとうちSDGsフォーラム」を開催しました(参加人数27名)。 推進方針については総合計画を基本に進めることとし、瀬戸内市統合報告書にもSDGsの推進を掲げました。
		<ul style="list-style-type: none"> ・邑久高校と連携し「瀬戸内市オリジナルSDGsカードゲーム」を活用した出前授業を開催し、市民と一緒にSDGs推進を促進します。 出前授業開催数：10回 	<ul style="list-style-type: none"> ・邑久高校と連携し、SDGsカードゲーム出前授業を市内小学校4校(6クラス/約150人)で実施しました。現時点で未実施の小学校においても、年度内に開催できるよう調整しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・邑久高校と連携し、SDGsカードゲーム出前授業を市内小学校8校(13クラス/約300人)で実施しました。 また、市内企業、地域団体3か所でカードゲーム出前講座を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「せとうちSDGsフォーラム」の中でSDGsカードゲーム体験会を開催し、高校生と一緒に市民へPRを行いました。 出前授業等開催数：11回 ・小学校出前授業 8校(13クラス/約300人) ・市民向け出前講座 3回(参加者約50人) 	